

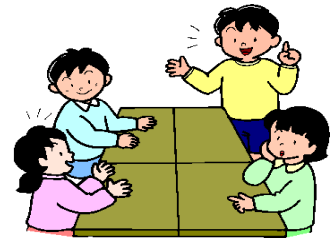
1 問題解決的な学習の基本過程

なぜ今、問題解決的な学習なのでしょう？

学力向上のためには、「意欲的に課題に取り組み、解決する子ども」を育成することが大切です。
 なぜなら、「この課題を解決したい」「これができるようになりたい」・・・と意欲をもちながら学習に取り組む子どもは、自分のもてる力を駆使したり、友達と知恵を出し合ったりして課題を解決する過程で、時にはそれまで以上の力を発揮するからです。
 こうした学びを可能にするのが「問題解決的な学習」です。これは今まででも大事だと言われてきましたが、今改めて授業展開の中軸にすえて充実させることが必要です。

問題解決的な学習のよさ

- ◆ 学ぶことの楽しさや達成感を体得することにより、主体的に学習する態度が養われます。
- ◆ 問題を解決する方法等を学び、他の場面にも活用することができるようになります。
- ◆ 自分で考え調べ獲得した知識や技能は確実に身に付きます。
- ◆ みんなで協力したり、グループで活動したりすることにより人間関係が深まります。



段階	問題解決的な学習の仕方	子どもの見方・考え方の例	関連
課題把握	問題発見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新たなことに会いそれまでの経験や知識との間に疑問や矛盾を感じたことを話し合い、本時の課題をとらえる。 	<p>p.7</p> <p>p.8</p>
	見通し	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習事項や生活経験を基に見通す。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 解決の方法を見通す。 ・ 答えの見当をつける。 ・ 調べる視点をもつ。 ・ 学習活動の筋道をもつ。 	<p>p.7</p>
課題解決	自力解決	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見通しをもとに課題解決に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ノートや資料を活用し、必要な情報を集める。 ・ 自分の考えをもつ。 ・ 試しにやってみる。 ・ うまくいかないところを修正する。 ・ 分かったところと分からないところを整理する。 	<p>p.9</p> <p>p.10</p>
	思考の共有と吟味	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題解決に向けて話し合い、思考を共有する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の考えをよく聞く。 ・ 自分と違う考えを理解する。 ・ 解決方法の内容を理解する。 ○ 思考を吟味する中で課題解決する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 正誤を確かめ、意味や理由、関連等を考える。 ・ 規則性を見付ける。 ・ 自分の考えを見直して再構築する。 ・ より分かりやすい表現にする。 	<p>p.11</p> <p>p.12</p>
	振り返る活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 振り返る活動により、学習内容を身に付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題について分かったことを自分の言葉でまとめる。 ・ 分かったことを広げて考えてみる。 ・ 分かったことを生かして適用問題を解く。分からないことは質問する。 	<p>p.13</p> <p>p.14</p>

※ 授業によっては適用をまとめの前にもあります。